

■編集後記

2020年度の「保育と実践」第16号を無事発行できることとなった。

本年度も例年通り4月に新入生を迎え、学生と共に慌ただしく大学生活が始まっていくことを誰もが少しも疑っていなかった。しかし海外で突如として新型コロナウイルス(COVID-19)の感染が報告され、国内での感染者も増えたことで社会の話題は東京オリンピックからコロナ一色となった。マスクの常時着用や手洗いの徹底、アルコール消毒など感染予防対策が徹底される生活となった。

本学では感染リスクを懸念して前期の前半はオンライン授業となり、実習は延期、各種イベントも中止となった。一方、社会全般と同じく急激なICT化が進むこととなった。

その後徐々に社会が動き出し従来の社会生活全般が一変することとなったが、幸いなことに学生達の元気さと笑顔に変わりはなく「ホッ」としたことが忘れられない。

未だ終わりの見えない新型コロナウイルスであるが、ここに報告されている学生の『学びの履歴』が、学生達にとって良い糧となってくれればと祈っている。

(文責 谷口 真嗣)

編集担当者／谷口真嗣・小倉 隆

「保育と実践」第16号

発行日：令和3年3月15日〈非売品〉

発行元：常葉大学短期大学部 保育研究会

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町6番1号
TEL (054) 297-6134

印刷：株式会社篠原印刷所